

プログラム開発支援ソフト



VB.net ソース抽出

Version 1.0.0

利用マニュアル

TECH-BEE

サポートメールアドレス tech-bee@mail.goo.ne.jp

ご意見・ご要望: <http://techbee.blog14.fc2.com/blog-entry-118.html>

改定履歴

版	公開日	Version	摘要
第1版	2013/03/13	1.0.0	初版公開

目次

はじめに	1
準備	2
利用方法	3

はじめに

本プログラムは、VB.net のソースを読み込み、Function 等の各要素とそれらの引数などを抽出し紹介するために開発しました。

仕様書がない・仕様とソースに大幅な相違点があるなど、困難な状態での既存システムのリプレースを行う際にご利用ください

命名規約が守られていないために何が何だかわからない・共通変数が個別の関数の引数として使われているなど残念なソースが一気に見通し良く参照できるようになります。

自分自身が実務で困ったところを補完する目的で作りましたので突っ込みどころは満載だと思います。

また、こういった機能を追加してほしいなど連絡いただきましたらできるだけ対応してゆこうと考えています。

さしあたって、プロジェクトやソリューションを指定することにより該当する範囲のソースをすべて読み込んでデータベースに登録したり、外部参照している dll をまとめるなど考えています。

時期はお約束できませんが・・・

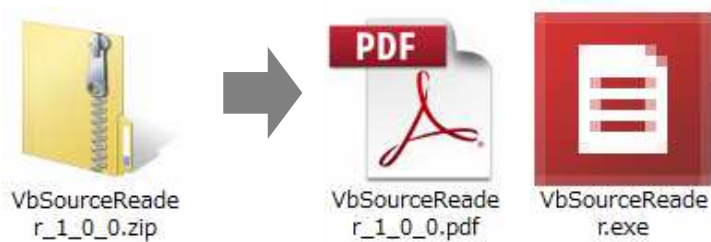
準備

1 動作環境

- ・ 対応P C Windows2000 SP4, XP SP3, Vista, 7 が動作する PC/AT互換機
- ・ 環境 .NetFramework2.0 以上

2 ファイル配置

- ・ ダウンロードしたファイルを解凍します。



解凍した内容は次のとおり

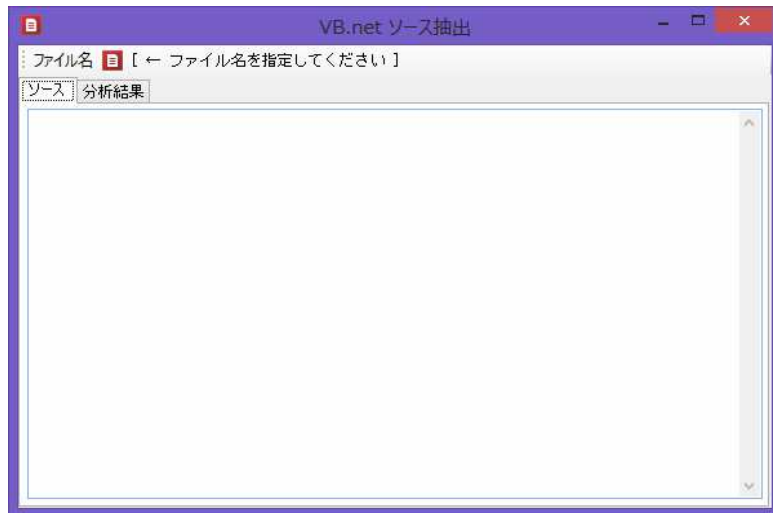
- VbSourceReader.exe
当プログラム本体
- VbSourceReader_1_0_0.pdf
本マニュアルファイル

- ・ インストールは必要ありませんので、任意のディレクトリに配置してください

利用方法

1 起動

- ・ VbSourceReader.exe をダブルクリックします。
- ・ 初期画面

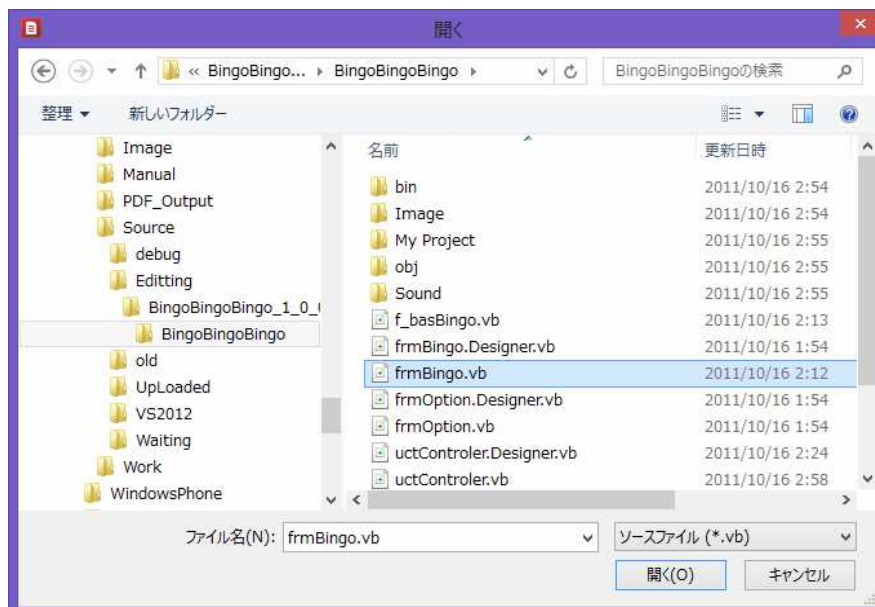


2 初期設定

- ・ 特にありません

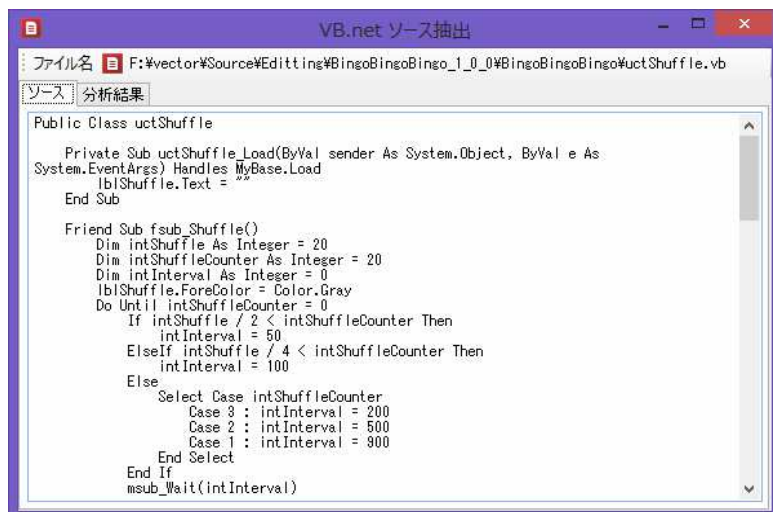
3 利用方法

- ・ タイトルバーのファイル名の右側のアイコンボタンをクリックして読み込みたいソースファイルを選択します。

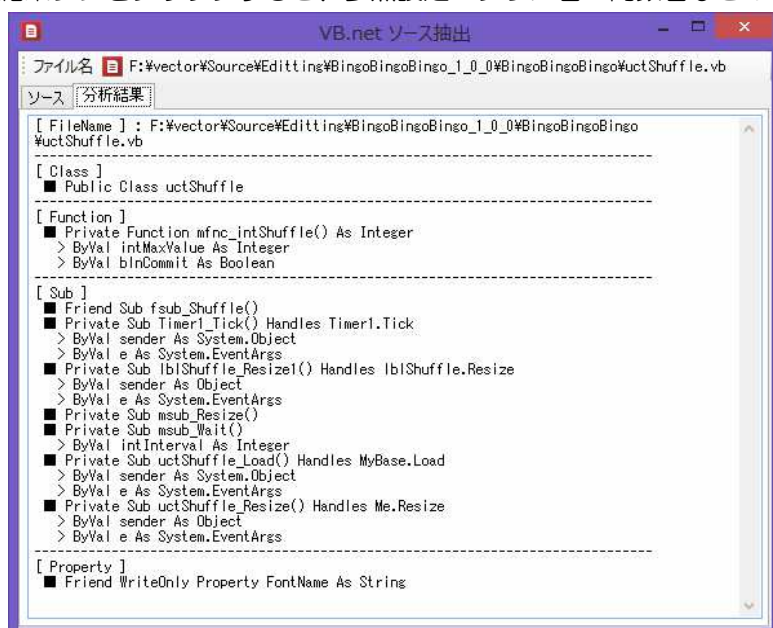


利用方法

- ・ ソースファイルが読み込まれます。



- ・ 分析結果タブをクリックすると、参照設定・クラス名・関数名などの一覧を表示します。



※ Function, Sub, Property については引数があれば次からの行で表示します。

※ Enum, Structure については要素を次からの行で表示します。